

入退院支援連携デザイン事業実績報告書

団 体 名	一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
実施内容 (28 年度)	
<p>【事業概要】</p> <p>この事業は、市町村の地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを支援するため、医療と介護の連携に係る人材の育成、資質向上をめざし実施した。</p> <p>また地域の医療及び介護にかかる入退院支援連携業務、特に情報（終末期ケアも含め）共有の方法を標準化・均てん化するため、入退院支援連携に関するハンドブックを作成した。</p> <p>(1) 研修</p> <p>〔実施目的〕</p> <p>入退院支援連携体制を構築するため、地域包括ケアシステムの基本理念や入退院支援連携デザイン事業の理解を深めることにより、患者・家族に質の高い入退院支援連携ができる医療ソーシャルワーカー等を養成し、地域包括ケアシステムに寄与することを目的とした。</p> <p>〔実施概要〕</p> <p>ア 入退院支援専門職リーダー養成研修</p> <p>入退院支援専門職リーダー養成研修は、受講対象者を専門職リーダー（医療ソーシャルワーカー・看護師等、入退院支援連携を担う実務者、介護支援専門員、地域包括支援センター職員）とし、年2回（前期：4月、後期：10月）実施した。</p> <p><u>前期1日目 日時：2016（平成28）年 4月15日（金）</u></p> <p>場所：那覇市立病院 3階講堂</p> <p>対象：医療ソーシャルワーカー・社会福祉士 （入退院支援連携業務の経験概ね5年以上の者）</p> <p>参加人数：34名</p> <p>内容：入退院支援連携デザイン事業の概要と連携の課題 入退院支援連携デザイン事業の効果検証指標について</p> <p><u>前期2日目 日時：2016（平成28）年 4月16日（土）</u></p> <p>場所：那覇市立病院 3階講堂</p> <p>対象：医療ソーシャルワーカー・社会福祉士 （入退院支援連携業務の経験者、これから取り組む予定の者）</p> <p>参加人数：58名</p> <p>内容：入退院支援連携デザイン事業の概要と連携の課題 退院支援加算の算定のポイント 在宅医療を推進する退院支援の現状と課題 退院支援におけるソーシャルワークの視点 業務開発とマネジメント</p> <p><u>前期3日目 日時：2016（平成28）年 4月17日（日）</u></p> <p>場所：那覇市立病院 3階講堂</p> <p>対象：医療ソーシャルワーカー・看護師等、入退院支援連携を担う実務者 介護支援専門員、地域包括支援センター職員 その他「地域包括ケアシステム」に関わる者</p> <p>参加人数：79名</p>	

内容：入退院支援連携デザイン事業の概要と連携の課題
地域包括ケアシステムにおける多職種連携のあり方

後期1日目 日時：2016（平成28）年10月 8日（土）

場所：那覇市立病院 3階講堂

対象：医療ソーシャルワーカー・社会福祉士
（入退院支援連携業務の経験概ね5年以上の者）

参加人数：31名

内容：地域包括ケアシステムにおけるメゾレベル介入のためのソーシャルワーク実践
北海道北見市における病院-ケアマネ連携ルールの策定について-

後期2日目 日時：2016（平成28）年10月 9日（日）

場所：那覇市立病院 3階講堂

受講対象者：医療ソーシャルワーカー・社会福祉士
（入退院支援連携業務の経験者、これから取り組む予定の者）

参加人数：48名

内容：患者の〈どう生きるか〉を支える支援について
ソーシャルワークアセスメントの視点
MSWサマリーを作成しよう！

イ 入退院支援実務者研修

入退院支援実務者研修は、受講対象者を入退院支援連携業務を担う多職種（市町村職員、保健所職員、医師会職員、全医療機関の退院支援部門責任者・医療ソーシャルワーカー・退院調整看護師、介護支援専門員、訪問診療医・訪問看護師、リハビリ職等）とし、各圏域年1回（北部圏域、中部圏域、南部圏域、宮古圏域、八重山圏域）の5回実施した。

標準とした内容は、講義：①患者の〈どう生きるか〉を支える支援について、②在宅医療・介護連携事業に係る制度説明と沖縄県における取組状況について、③入退院支援連携デザイン事業について、シンポジウム：「地域包括ケアシステムにおける専門職の役割と課題～多職種間の相互理解を深め、相談し合える関係づくりをめざして～」とグループワークは、各圏域ワーキンググループによって、地域にあった方法と内容で行った。

宮古圏域 日時：2016（平成28）年12月 4日（日）

場所：沖縄県宮古合同庁舎 2階講堂

参加人数：63名

ワールドカフェ：「そうだったのね！
～お互いの専門性を理解し、疑問に答えましょう～」

八重山圏域 日時：2017（平成29）年 1月29日（日）

場所：沖縄県八重山合同庁舎 大会議室

参加人数：64名

ワールドカフェ：「八重山バージョン地域包括ケアシステムをめざして！
明日からできること、やれそうなことを話し合いましょう～」

中部圏域 日時：2017（平成29）年 2月 4日（土）

場所：嘉手納町中央公民館 大ホール

参加人数：233名

ワークショップ：「わたしの採点票
～地域包括ケアシステムにおける“わたし”の役割を考える～」

北部圏域 日時：2017（平成29）年 3月 5日（日）

場所：名護市役所羽地支所ホール

参加人数：130名

ワールドカフェ：「入退院支援のルール化を目指して

～在宅入退院支援でうまくいった事、いかなかった事～」

南部圏域 日時：2017（平成29）年 3月18日（土）

場所：沖縄県総合福祉センター ゆいホール

参加人数：159名

ワークショップ：「そうだったのね！お互いの専門性を理解し、疑問に答えましよう」

（2）入退院支援連携に関するハンドブックの作成

〔目的〕入退院支援に関わる介護・医療関係職種の連携強化と、円滑で質の高い入退院支援の実践の標準化・均てん化を目的とし、ハンドブック「平成28年度入退院支援連携デザイン事業 入退院支援連携デザイン ガイドライン ～本人・家族・病院チーム・在宅チームで取り組む入退院計画～」を作成した。

〔内容〕・目的、入退院支援連携の基本理念、医療機関の機能の違い、入退院支援連携について、地域包括ケアシステムと介護保険、関係機関連絡先、参考文献・資料、参考様式

〔仕様〕300部、A4サイズ（1枚A3サイズ：折りたたみ）、両面（表紙・本文：フルカラー）、60ページ

〔配布先〕地域包括支援センター、市町村主管課、医師会、保健所、病院・有床診療所、職能団体、その他関係機関

【事業過程】

（1）研修

- ・ 専門職研修コアメンバー会議： 平成28年 6月25日（土）
- ・ 5圏域実務者研修説明会：北部・中部・南部 平成28年 8月30日（火）
宮古 平成28年10月21日（金）
八重山 平成28年11月18日（金）

（2）入退院支援連携に関するハンドブックの作成

- ・ ガイドライン編集ワーキンググループ会議： 平成28年 9月28日（水）
平成28年12月22日（木）